

平成29年4月19日

市政記者 各位

富山市保健所長

腸管出血性大腸菌（^{オー}O26）感染症の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の男性（20歳代）
- (2) 経緯 4月10日（月）下痢が出現した。
13日（木）医療機関を受診し、検便を実施した。
- (3) 診断 4月18日（火）腸管出血性大腸菌O26（VT1）感染症と診断された。
- (4) 症状 内服治療中であり、症状は回復している。

2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

予防対策について

- 食べ物は十分加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- 手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
- 下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

（担当）保健所保健予防課

428-1152

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	平成 29 年	平成 28 年 同時期延べ数	平成 28 年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
○157	0 (0)	0 (0)	4 (3)
○26	3 (本事例を含む) (1) (本事例を含む)	0 (0)	39* (34)
○145	0 (0)	0 (0)	1 (0)
○121	0 (0)	0 (0)	3* (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	3 (1)	0 (0)	47 (37)

※○26及び○121の混合感染1名はそれぞれに含む。